

投票率低下の検証を 米原市議選山脇・藤田両氏当選



米原市民報

日本共産党米原市会議員

山脇正孝 Tel.52-1093

日本共産党米原市会議員

藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

10月12日告示19日投票の米原市議選終わりました。16人の定数に対して19人が立候補するという激戦野中、日本共産党は2議席を獲得しました。同時に行われた県下5市の市議選は10人全員が当選するという結果となりました。日本共産党湖北地区委員会の声明を掲載します。また投票率は2回連続下がり5割を切る結果となりました。

日本共産党湖北地区委員会

◆19日投票された米原市議会議員選挙の結果、藤田正雄、山脇正孝両氏が当選を果たし2議席を確保しました。得票は1231票、得票率8・32%、前回選挙を得票・率とも下回りましたが、今年の参院選、24年総選挙での共産党比例票を上回りました。投票率は49・07%で前回から10ポイント近く低くなりました。

市民の切実な願い

◆日本共産党は、今回の市議選で、「市民の暮らしと命、健康を守る」とスローガンを掲げてたたかいました。選挙戦は3人はみ出しの大激戦となり、とりわけ旧米原、山東地域で有力な現職、新人が入り乱れたたかひとなりました。

しかし物価高のもとで「暮らしを何とかしてほしい」という市民の切実な願いが、わが党への期待につながり、ふたりを押し上げました。

山脇・藤田両氏の訴え

◆山脇市議は、くらし・教育に関わる数多くの実績が市民に浸透しました。「中学生への支援金はほんとに助かった」、「子どもや保護者のことを大事にしてくれていると思った」という声が寄せられました。一方で旧町内で競合する候補者の勢いはすさまじいものがありました。が「暮らしの願いを実現するのはどの候補か」市民は良識ある判断をおこなったといえます。

◆藤田市議は、党議員団の値打ちを語り、結びつきを生かした訪問と宣伝を行ってきました。なによりも支援者の方がねばり強く訪問活動をおこない、支持広げにとりくんだことが激戦を勝ち抜く決定打になりました。「すでに家族の人に言うてくれている」、「会う人会う人に藤田に頼むと吉つてくれる人もいた」と日に日に手ごたえを感じることでできました。

◆日本共産党が発行した「米原市民報」や赤旗宣伝力への訴えも大きな力を発揮しました。ビラを読んだと対話になる人、家から出て話を聞く人、ビラのなかみを示して「これをやって欲しい」と訴える人など、市民の候補者を見極めようする姿勢が浮き彫りになりました。

◆ふたりの候補者は支援者、後援会員、地元の人に支えられて、元氣よく選挙戦をたたかいぬきました。投票日、夜遅くまで開票の結果を待っていた支援者のみなさんは、ふたりの当選が決まると満面の笑みで喜び合いました。

公約実現に全力で

◆日本共産党は、今回の選挙戦でご支援いただいたみなさんに心から感謝するとともに、かかげた公約実現にむけ、全力をあげる決意です。そして、混乱する国政のもとで、人権をないがしろにする危険な潮流に抗して、国民の暮らしを良くし、願いを実現していく政治を前に進めるためにがんばります。みなさんのご支援、ご協力をよろしくお願

投票率100%5%

投票率の低下が止まりません。先の参議院選挙から投票所が45か所から16か所に減らされました。期日前の移動投票所やまいちゃん号活用など対策は一応足られていますが、今回の急激な投票率の低下の原因について、しつかり検証が必要だと思います。

有権者からの意見

醒井の有権者の方より次のような意見が議員に話されていきました。

- ①今回から投票所が河南小体育館になり遠くなったので多くの方が棄権された。何とか対応してほしい。
- ②「投票用まいちゃん号」について普段利用していない人には利用しにくい。
- ③移動投票バスについても場所が限られている。各集落30分でも時間を決めてまわってほしい。との意見がありました。選挙は民主主義の基本です。今後の改善が必要です。

市議選投票率の推移

2025年10月	2021年10月	2017年10月	2013年10月
49.07%	58.38%	68.35%	66.71%
▲9.31%	▲9.97%	1.64%	—